

梅も桜もミモザも詠まれました。啓さんのアドバイスで、俳句の知識が広がり、句づくりに励みが出てきました。さあ、四月も又、句会を楽しみましょう。十四日(月)一時半からです。

- ・啓蟄や里山に充つ草木の気(啓)
- ・紅椿 路地の一枝 手折る人
- ・昼電車本読む人に春日射す
- ・ヒヨドリを訪ふベランダ春野菜
- ・宗匠の魚屋ととぎのひらく梅の宴
- ・遍路道 笠を連ねて鈴鳴らす
- ・水温む鯉のゆっくり近づきぬ
- ・鶯の鳴くや青空深くして
- ・いざなぎの直日神(なおいのかみ)や春憂い
- ・川辺りを歩む人見ゆ水温む(大栗川にて)

直日神＝罪悪・禍害を改めなおす神。いざなぎが禊ぎ時産まれた神。

魚屋＝千利休のこと

《創作川柳》 三月投句より

川柳の題材が満ち溢れている昨今の世の中。それをいかに表現するのか、それがなかなか難しい。興味のある方、いっしょに川柳に挑みませんか！

- ・石橋を叩いて渡った商品券
- ・商品券 裏書何と解釈す
- ・春來たるスズメ、ツバメは何処にや
- ・雪だるま造り損ねた天気予報
- ・米配布参院選へのお願ひか

- (迷夢) ・雪積る春まで待とう隠しとけ
- (流風) ・春眠の暁覚えず花粉症
- (脱兎) ・又逃す高安閑になお拍手
- (小寅) ・トラとブー自己の権力だけを誇示
- (迷夢) ・立ち留まり考えあぐねる記憶装置

- (流風) (迷夢) (脱兎) (迷夢) (小寅)

- (啓) ・春來たる旅の広告溢れをり
- (美恵子) ・春炬燵ひざのあたりのぬくもりや
- (忠夫) ・雛の部屋真夜に管絃聴いたよな
- (むつみ) ・商店街 人影絶へし余寒(よさむ)かな
- (啓) ・桜咲く明かり頼りの散歩かな
- (美恵子) ・豆雛(まめびな) 友の形見となりにつけり
- (操子) ・絵手紙に梅花描かるお札状
- (知香) ・お彼岸や気取りすまして鴉行く
- (啓) ・ミモザ咲く期待の新人 初登壇
- (忠夫) ・足なへし梅の香行きたや句ひのみ

- (忠夫) (節子) (操子) (美恵子) (知香) (操子) (むつみ) (節子) (啓)



の報告



《3月の歩こう会》

晴れていれば鶴川香山(かごやま)公園にバスで出掛けるプランでした。今年1月にオープンした公園を散策する予定だったのですが、残念ながら雨天中止となりました。次の機会をお楽しみに！

《子ども広場》《子ども食堂》

3月号でお知らせしましたが、都合で中止となりました。今後に期待しています。

《編物サークル》

今年度最後の3月、総勢9人が集合し「12月の作品展」を目指して熱心に創作を続けています。

《パッチワーク教室》

メンバーも新しくなり、これから「独自の作品展」に向けて制作に励んでいます。

《ハーブの会》

ハーブアンサンブルの会に向けて猛練習中です
日時；4月19日(土) 14時～16時
場所；、聖蹟桜ヶ丘関戸公民館ヴィータホール。

新規の催し

例月の誕生会

今年度いーちは創立25周年を迎えますので、新しい出会いのチャンス求めて、会員の方のお誕生会を催すことになりました。

毎月第1土曜日午後2時から4時まで。ケーキとコーヒーで参加費500円

開催予定日：4月5日、5月3日、6月7日、7月6日、8月2日、

9月6日、10月4日、11月1日、12月6日。

2026年は別途お知らせ。

どうしても都合悪く出席できない方は、翌月にご参加可能です